

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）		
1. 初期支援（はじめのかかわり）		メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画	- 一人ひとりが知り得た情報は担当経由で報告。担当自らが考えることの出来る道筋を強化。 - 提供した情報がいち早く伝達出来るよう、常に呼びかけを行い意識の改善を図る。 - 家族との関わりを持てるよう、管理者やケアマネだけではなく職員も交えた交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 利用者の様子や状態は、日頃の職員間のコミュニケーションがとれている。 - 利用者の気持ちになり、安心していただけるように声掛けや気遣いは出来ていた。 - 個人連絡表や職員ノートを使用して情報共有し、コミュニケーションを第1に考え、短い時間でもご家族に出会ったときは少しでも情報を得られるように努力した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3人	3人	1人		7人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者がまず必要としている支援ができていますか？	1人	5人	1人		7人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3人	4人			7人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	5人	1人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①は、個人連絡表やスタッフノートを通して情報や本人の希望等を伝えている。②～④については、コミュニケーションを第1に考えている。本人（利用者）との対話は勿論、ご家族にもメールや手紙で思いを聞くようにしている。 - 情報には目を通し、他の職員とも情報交換しながら取り組むようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 羞恥心もある為直ぐに対応出来ない事もあるが、状況を確認しながら対応を考慮している。 - 必要とされている支援の把握が追いついていない。（利用者の状態が日々変化している。） - 利用者との関係づくりは難しい。普段興味を持たれていても日によっては拒否される時もある。（表面的な部分しか見ることができていないのかも知れない。）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 職員が得た書面での情報とご家族からの情報等を整理し、いち早く正確に職員全員に伝える。また、得られた情報から何が必要とされているのか自身で考え職員間で意見交換を行う。その上で、どう支援できるか全員で考え実行する。 - 送迎時だけでなく、メールやLINEを使用し家族とコミュニケーションを図り信頼関係を築いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画	・利用者それぞれの「～したい」が明確な場合、長期的な目標なのか短期的な目標なのかに分けて実践する。 ・「～したい」の支援の進捗状況を会議で定期的に確認し職員の意識(定着)向上を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・サービスを利用されている中で、何をしたいか聞きながらサービスを提供させて頂くようにして取り組むようにした。 ・全利用者と個別のコミュニケーションによって、本人の思いは理解しようとしている。目標が思いつかない人には一緒に考えたり提案したりしている。また、目標が明確な利用者は関りやケア内容を具体化し、スタッフや利用者に伝え実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		2人	5人		7人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		3人	4人		7人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		2人	4人	1人	7人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？			7人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の会話から望まれる事を引き出す工夫を行うように心がけた。 ・利用時には会話を通し、情報収集するようにしている。 ・短時間であっても利用者と話をする。 ・利用者のニーズを把握・理解はしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家人と本人の思いを目標の中に組み入れるようにしているが、まだまだ本人のしたいことを組み入れることが出来ていない。（家族とのコミュニケーション不足） ・全利用者同じ量や質で関わる事が出来ていない。（利用者の認知状態により、有効な意思疎通ができない場合が多い。このような方に対し、どのように言葉を伝え理解を得られれば良いのか見出せていない） ・「～したい」の情報共有・実行。（漠然と現状維持が目標になっているように思う）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・何気ない会話の一言や表情からでも「～したい」の思いなのか汲む力を養う。また、その思いを職員と共有、協議を積み重ね本人の「～したい」に1つ1つかかわりを持ち、本人の思いを実現する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
3. 日常生活の支援	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	・準言語と非言語に対する理解を深め、「本人の声にならない声」を言語化し職員間で共有する。 ・個別援助計画書を定期的に見直し、利用者の現状にあった支援計画を実施する
前回の改善計画に対する取組み結果	・体調面は常に心掛けている。また、こまめな変化や異常についても常に観察することで把握できるように努め職員に情報共有している。 ・本人の状況に合った基本的なケアは、その都度様子や気持ちを確認しながら行っている。変更も柔軟に行えている。 ・個別援助計画の見直し情報共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1人	6人		7人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	6人			7人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		4人	3人		7人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	3人			7人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1人	6人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の体調の変化には、看護師と連携している。特に独居の方は日常生活の様子を聞き取り細かい所まで気を付けている。 ・入浴では特に利用者に関わることが多く、皮膚の状態や口調、声の大きさ、話される速さ、身だしなみ、表情、目線、姿勢、動作等観察等している。また、そこから得た情報は共有できていると思う。 ・職員間でも情報を密に共有し、状態に合った排泄や食事の提供が出来るようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の声にならない声をチームで言語化出来ていない。（「チームで」という点。客観的、多角的な視点で物事をとらえられる人が少ない） ・10か所以上は把握出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・個々人レベルで認知症ケアや観察力を上げ、本人の気持ちに気づく力をつける。 ・勉強会等を開催し職員のスキルアップとケアに対しての共通の意識を習得する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	・利用者家族も園の行事に参加を促し、交流出来る時間を増やしていく。 ・利用者個別の外出を計画する際に、地域資源の活用方法を学んでいく
前回の改善計画に対する取組み結果	・古市館の行事に家族様も一緒に参加して頂いたり、地域の行事にも参加したりして交流を持つことができた。 ・利用者、家族、地域の方との交流が古市館のイベントで出来たのが良かった。少しずつではあるが、個別の外出もできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1人	4人	2人		7人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4人	3人		7人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3人	4人		7人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2人	4人	1人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者家族と密にコミュニケーションをとれている。 ・職員で情報共有しながら関係を保てるようにしている。 ・社会資源などケアマネに教えてもらい、報告・相談の機会を持つようにしている。 ・ケアマネからの情報やご本人と関わっていく中で情報を得て、他の職員とも情報交換しながら支援をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員の方との関わりや把握、地域資源の活用が出来ていない。（手段が分からない） ・行き場所によっては、参加する利用者も限られている。（参加者も少しずつ多くなっているが、まだまだ交流する機会が少ない。） ・本人を中心とし、家族・地域・私たち支援者の輪を作り孤立しないように支援するというレベルには達していない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域資源に対しての知識が乏しく十分に活用ができないが、これまでお世話になっている地域とのかかわりを絶やすことなく継続し、新たな機会に出会った時に積極的に参画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	3人	2人	人	7人

前回の改善計画	・小規模多機能としての体制の整備。 ・利用者個別の外出を増やし、地域の今に触れ合う機会を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・出来る範囲で外出支援に取り組んだ。 ・地域の方と触れ合う機会がある時は参加している。 ・地域交流（折り紙会、カフェやすらぎ）は、以前に比べ回数が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		3人	4人		7人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1人	4人	2人		7人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		5人	2人		7人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人	5人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者だけでなく、家族からの要望にも対応できている。急な利用や泊り等にも勤務を調整し、職員全員で対応している。 ・利用者の様子は細かく観察できている。身体面だけでなく心の面も重視している。気づいた事、それに対するケアは早急に考え各スタッフに伝えている。 ・ケアマネの知識を借りながら他の資源活用の検討を行っている。 ・職員間で情報を共有し、相談しながら支援を行うように心がけている。気づいた事等職員全体に伝えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・参加される利用者はだいたい同じ人になってしまうので、あまり参加されない方の外出支援を考える必要がある。（訪問場所によっては、トイレ等気を付けないといけないところがある。） ・本人についての情報はしっかり共有できているが、そこから「どう支援するか」という話に至らない。至ったとしても家人との共有や協力ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・小規模多機能の特性を学び理解する事で、利用者や利用者家族にやすらぎ古市館のメリットを活かしたサービスを提案し、柔軟な支援を実現する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
6. 連携・協働	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画	- 必要なサービス機関との接点や交流について、管理者だけでなく職員にも参加機会を作り交流を図る。 - 地域で活躍されているボランティアを招致。地域の方にも活躍できる場を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 地域のイベントに少しずつではあるが、参加できている。 - コロナ、インフルもあり限られているが、地域の行事には参加できている。月1回のカフェ以外にも折り紙会があり、参加者も少しずつ増えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？				7人	7人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				7人	7人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人	1人	3人	2人	7人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	3人	3人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 小規模でのイベントがある時は、職員の子供もボランティアとして参加し、一緒に楽しんでいる。 - 折り紙会や古市館で大きなイベントのフェスタを開催することができた。 - 認知症カフェや声を掛けて頂いたイベント等には、出来るだけ参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域の各種機関・団体の活動やイベントの参加は、あまり知らないことが多く参加出来ていない。（情報発信・収集不足、ハード面で利用しづらい時がある） - 地域のサービス機関への会議の参加の機会がない（所長、ケアマネがいつも参加している）（外部との会議はケアマネや所長が出席する事が慣例となっている） - 地域の会議に参加する機会はない。（管理者やケアマネ、利用者に関する時も看護師が参加している）	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
- 必要なサービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議にケアマネや管理者だけでなく職員にも参加する機会を作り交流を図る。 - 古市館でイベントを開催し、ボランティアを招き利用者や家族、職員と一緒に交流を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
7. 運営	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	5人	2人	7人

前回の改善計画	- 定期的に職員の個別面談を実施し、意見交換が出来る場を設ける。 - 顧客満足度調査票等のアンケートを活用し、苦情や要望の聞き取りを強化し運営に反映させる。 - 当施設の事業内容をよりよく知っていただくために、SNSの活用や広報の設置(取り扱い)を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 広報誌の「古市館だより」やホームページにブログを掲載し、日頃の活動している様子を知ってもらう機会が増えた。 - 折り紙会や古市フェスタを通し、古市館を知ってもらう取り組みはスタートさせることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	1人	4人	1人	7人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	3人	3人		7人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？			7人		7人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		2人	3人	2人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 利用者家族からの意見は敏速に対応している。 - 送迎時、家族と会った時はコミュニケーションを図り、困りごとがないか聞き取っている。 - 日々のコミュニケーションの中で情報は共有出来ている。 - 苦情等聞いていないが、意見等は出来るだけ対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 意見を言う事が少ない。 - 積極的に地域と協同や取り組みは行っていない。(意見を言うのが苦手)。 - 色々な所からの意見や苦情といった事を運営に反映というのは難しく分からない。 - 苦情等に関してはあまり自分の耳に入っていないので分からない。ちょっとした希望は(利用者、家族)は耳にすることがあるが、それを運営にまで反映する事はできない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者、ご家族との日々のコミュニケーションの中で情報を抽出し、些細な事も必要な情報か否か職員で情報共有・協議する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	・スキルアップが図れるよう、目的にあった研修や資格の習得が出来る体制の整備。 ・リスクマネジメントの意識を高めるため、内部で勉強会を開き適切な対策がとれるよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修は職場内で実施されている。外部の研修も積極的に参加している。 ・少しずつではあるが内部勉強会が出来ている。参加可能な研修会には参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	5人	1人		7人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3人	3人	1人	7人
③	地域連絡会に参加していますか			1人	6人	7人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3人	3人	1人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・以前より何度か勉強会を開き意識を高めた。 ・昨年よりも研修に参加できたと思う。 ・内部での医療的な研修、認知症研修などは資料を作成し行った。 ・外部研修も時間の許す限り行くようにしている。 ・研修への参加（リスクマネジメント） ・職場内の研修等は参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に参加していない。 ・インシデント記録が少ない。（積極的に記録に残せていない） ・地域連絡会に参加していない。 ・研修や看護・介護場面でのリスクマネジメントは、今後も内容や回数を充実させて継続していきたい。 ・資格取得等の勉強は出来ていない。（何をしたらいいのかわからない）	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・職場内研修を継続する。また、オンライン研修なども積極的に参加し学びの場を増やす。 ・過去のひやり・はっと報告の事例や事故報告を分析し、リスク回避の適切な対策を講じる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年2月13日（17：00～18：30）
9. 人権・プライバシー	メンバー	小島、三輪、藤本、岡本、高瀬、山内、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	人	人	7人

前回の改善計画	・常に「自分が介護される立場だったらどう感じるだろう」という視点で支援を行う。 ・利用者と職員間の心理的安全性を重視し、よい環境を維持していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・各個人ごとに立場を考慮しながら介護を行っている。 ・相手の事を思いながら支援しているつもりでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	4人	3人			7人
②	虐待は行われていない	4人	3人			7人
③	プライバシーが守られている	1人	6人			7人
④	必要な方に成年後見制度を活用している				7人	7人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2人	5人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人の記録や情報等はまとめて保管している。 ・身体拘束や虐待はない。 ・適正な個人情報の管理ができています。 ・成年後見制度以外はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を活用していない。（対象者がいないため） ・トイレ介助時等プライバシーが守られていない時がある。言葉遣いも敬語が使えていない。（自分がきちんとした言葉で話せていないと思うので、他の人の言葉遣いを注意出来ない） ・自分は気を付けているが相手がどのように感じているかというのは、もっと意識しないといけないと感じる。押しつけになっていたり、無理や我慢をさせている事もあると思う。） ・成年後見人は対象者がいない。 ・職員同士会話している時の声のトーン等配慮に欠けていなかったかなど、意識せず会話をしている時があったかも知れない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束廃止や虐待防止についての研修の内容を、権利擁護の視点からも知識を深め理解するよう努める。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹南厚生会	代表者	芝 拓哉	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、特別養護老人ホームや通所介護を運営している社会福祉法人で、当事業所は平成 29 年 12 月に小規模多機能型居宅サービスに開設されました。特別養護老人ホームのバックアップと協力医療機関の西井クリニックと連携をとり、定期的な受診はもちろん急変時にも早急な対応が可能となっています。句会グループや折り紙会の活動の場に活用され、また市の介護予防事業の委託を受け、地域に出向いて介護予防活動を展開している拠点でもあります。在宅生活を支えるため地域のつながりを大切にしながら「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせ、住み慣れた場所で末長く暮らしていけるよう支援しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護センター やすらぎ古市館	管理者	道下 敏章		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	3 人	人	1 人	1 人	人	1 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・前年度のスタッフ評価の中からマイナス項目をなくす為、職員一人ひとりの個人目標を設定する。（職員全員で事業所の質の向上を図る）。 ・利用者及び利用者の家族様に事業所の評価を実施。その評価をもとに課題の見直しや運営向上に繋げていく。	・個人目標を設定し、できている事は継続し、「できない」を「できる」に変えられるように意識改革を行った。 ・利用者及び利用者の家族様に事業所の評価を実施はできなかった。	・最初の利用者とのかかわりを全員がしっかり取り組まれ、実行しようとする心構えはすごく評価できる。 ・個人評価をするときに目標がしっかり立てられているか、それを実行するためにどのようにすれば達成できるか見えるようにしてはどうか。 ・事業所の評価と外部評価、利用者の評価の3つの評価を総合的に考えていくことが大切。	・利用者、利用者家族の評価を実施し、その評価と自己評価、外部評価を参考に目標を設定する。また、その目標を達成するためにはどのように行動に移すのか順序立てて計画する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・1 階の活用を増やせるよう日課の見直しを図り、計画的に取り組めるようにする。 ・日常生活の活動範囲が広がるようフロアの使い分けを行う。	・利用者の作品や掲示物を貼り、施設の行事や活動を発信するように、また1 階でリハビリやレクリエーションを行う機会を増やし、動きの見える施設を心掛けた。	・1 階の活用案として、ゴザを敷いたり、雰囲気を変える工夫があれば面白い。 ・1 階の角に畳の空間があれば、椅子ではなく地面に座りくつろげそう。 ・昼食やおやつの時間も1 階へ移動すれば気分が変わり楽しそう。	・引き続き利用者の作品や広報誌、広告等の掲示物を貼り情報発信する。1 階でレクリエーションやリハビリを行い施設外からでも活動の様子が分かるような取り組みを行う。

C. 事業所と地域のかかわり	・地域で開催される行事は継続的に参加。その際参加職員に偏りがないよう取り組む。 ・事業所より新たな関係性作りを図り、地域と関わる範囲を広げて行く。	・引き続き参加していた行事に参加し、新規利用者也参加し楽しむことができた。 ・出張認知症カフェや味間の茶まつり等に利用者と一緒に参加し、地域の方と交流できた。 ・今年度初めて地域の方と一緒に「折り紙会」や「古市フェスタ」を開催し、利用者家族やかかわりある地域の方と一緒に祭りを楽しむ事ができた。	・事業所より新たな関係性作りを図り、地域と関わる範囲を広げていけたらいい。 ・新たな参加場所を広げていくのもいいが、登録者が増えているのなら一度に参加する人数を増やしてみるのもいい。	・これまで参加し恒例となっている行事には、なるべく多くの利用者が参加し、多くの利用者が楽しめるように計画する。また、新たに地域とかかわれる行事に参加する機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・行事等で地域の方と関わりがある際に、小さな声（困っていることがないか、またそういう方がいないか）もひろえるよう耳を傾けていく。	・いきいき塾では、利用者との関係性が築けているため、日頃の困り事や相談に乗る事ができる。また、折り紙会でも少人数であるが地域の方と交流しながら、相談できる態勢を取っている。 ・訪問を十分に行えているという件数ではない。小規模多機能の特性を活かした取り組みが必要。	・訪問の利用者は潜在的に需要があると思っている。訪問をうまく行っている事業所もあると聞いている。	・利用者が個人として地域とかかわり続けられる。また、繋いでいくように職員も利用者の地域とかかわりを持てる取り組みを行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・改善課題や意見をもとに運営のステップアップにつなげていく。 ・地域のつながりを大切にし、必要とされる事業所づくりを目指す。 ・運営推進メンバーにも協力をいただき、やすらぎ古市館の認知度を広めていく。	・会議では利用者の活動状況や運営の報告だけでなく、職員の活動報告や行事の様子を報告した。また、利用者の行事の様子など広報誌に載せきれない写真は、スライドショーを見て頂き楽しさが伝わるよう工夫した。 ・会議内では貴重な意見をいただき、新たな気づきから課題を見つけることができた。	・サービス評価で、いかに地域や地域の方々をつなぎ、かかわりが必要という事がわかる。 ・この会議や地域の会議には、管理者かケアマネが参加しているので、介護職員も会議に参加し地域の委員とのかかわりを増やすきっかけになればいいと思う。	・職員自身も運営推進会議に参加する事で、運営推進委員や地域とのかかわりを意識し、交流を深めるきっかけをつくる。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進メンバーを含めた消防訓練を実施する。 ・自然災害（風・水・地震等）にも早急な対応を図り、利用者及び職員の安全を確保する。	・計画通り年2回、9月と3月に消防訓練を実施し、9月は運営推進委員と訓練を実施することができた。 ・事業継続計画に関する研修と訓練を行った。	・今年度の避難訓練は、昼間の時間帯に火事が起きたと想定した訓練だったが、昨年西紀の施設で停電があり大変だったと聞いた。今後の訓練は、停電を想定した訓練や備蓄食品を使用した訓練をしてもいいのではないかな。	・1年に2回（9月と3月）避難訓練と災害対策を行っているが「いつもの訓練」ではなく、想定範囲を広げ訓練を行い災害に備える。

